

- 皮膚添付薬・内服薬など、ある薬剤はすべて試みる。
- 避難所での治療で改善しないときには、医療機関への救急搬送を手配する。
- 発作症状が改善していないときには、可能であれば看護師としても付き添っていく。
- 付き添いで行くときには、自分が戻ってくる行程も考えておく。

8 小児の発熱

【問診】

高熱の原因を尋ねる。水をかぶったまま・寒い屋外で長時間滞在など、とくになければ感染症の発生を考える。

【対応】

- おでこなどを冷やす。
- 水分を摂らせて風通しの良い所に横にする。
- 水分はスポーツドリンクを清潔な水で薄めたもの（避難所には最初、お茶と水しか来ないので、子どもが多い避難所では、パウダー状態でのスポーツドリンクを要望しよう！）。
- 慢性疾患（喘息・アレルギーなど）の既往を聞く。
- 持参薬の有無を聞く（喘息発作時などの）。
→持参薬がなければ、災害医療班の診察もしくは臨時医療拠点などを受診させる。
- 持病がある子どもは再発する可能性が大きいので、フ

フォローする。

- もらってきた薬を飲み終わるころにかならず再診させる。
- 薬をもらってきて服用しても、症状が改善せず、むしろ悪化しているときには、躊躇せずに再診させるか、小児科のある診療機関への受診を勧める（手配する）。

3

避難所での心得

4

災害直後に発生しやすい疾病・状態への対応